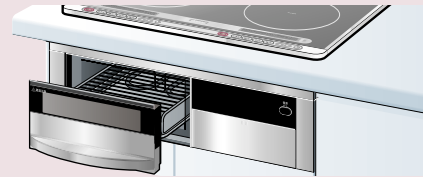
ロースターの使いかた

準備

1 受皿・焼網をセットして本体に組み込み 材料を焼網にのせる

※魚焼き調理をするときは、必ず受皿に水200mLを入れてください。

※グルメ調理をするときは、受皿に水を入れないでください。

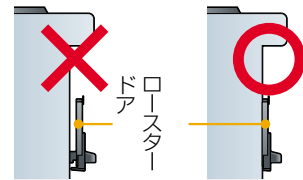
※ロースタードアはロックするまで押し込み、確実に閉めてください。

2 電源を入れる

- 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
- 電源ランプが点灯します。

点灯

電源

ピッ

3 パネル操作部を開ける

※扉の中央部(マーク部)を押して開いてください。

調理が終了した(させた)ときは

●調理が終了したり、切り忘れ防止機能が動作したときは次回調理するときのにおいや煙を低減するために、自動的にヒーターのクリーニング(表示)を行います。続けて調理を行うときやヒーターのクリーニングを終了したいときはスタート/切キーを押してください。(ヒーターのクリーニング:最大5分間)

1 ヒーターのクリーニング終了後(表示消灯)は 電源スイッチを押して電源を切る

- 電源ランプが消灯します。
- 電源を切っても、ロースター庫内の温度が高温の場合は高温注意表示を続けます。

魚焼き調理をする場合 ▼ 28ページ

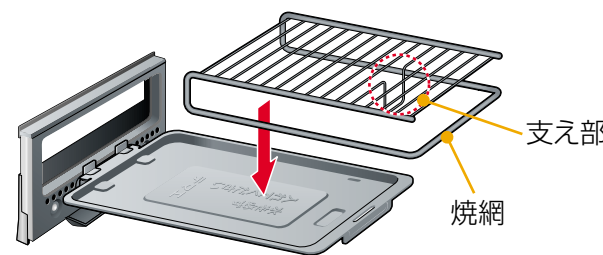
グルメ調理をする場合 ▼ 32ページ

お知らせ

- 使い始めは受皿の滑りをよくするための油が加熱によってにおいや煙となって出ることがありますがご使用にともない出なくなります。
- 通電してしばらくの間、前回の調理でヒーターについた脂が加熱されにおいや煙が出ることがあります。
- 調理中、材料の脂などが下ヒーターの上に直接落ちると、においや煙が出ることがあります。
- 調理中はヒーターがついたり消えたりしますが、温度調節しているためで故障ではありません。
- 調理直後にロースタードアを引き出すと、煙が前面から出ます。特に脂分の多い魚などを焼いたあとは、30秒程度待ってから引き出してください。
- ヒーターのクリーニングを途中で終了したときは、ヒーターについた脂が残るため、次回調理をするとき、最初ににおいや煙が出ることがあります。
- ロースター調理はメニューに応じて上･下ヒーターを自動的に切り換えます。メニューによっては上･下ヒーターの通電を細かく切り換えるため、ヒーターが赤くならない場合があります。
- 魚焼き手動調理やグルメ手動調理は上・下ヒーターの通電を細かく切り換えて両面を焼き上げるため、自動調理で調理するときよりも仕上がりに時間がかかる場合があります。

⚠注意

- ロースター使用時は必ず換気扇を使用してください。(調理中、吸･排気カバーから煙が出ます。)
- 焼網をセットするときは焼網の支え部をロースターの奥側にしてのせてください。

※のせる向きを逆にすると、本体に取り付けられません。

- 受皿に水以外のもの(例えばアルミホイル･クッキングペーパー･グリル石など)を入れて使用しないでください。(油が過熱され、燃えることがあります)
- 焼網に材料をのせるときは、焼網からはみ出さないようにしてください。(材料がヒーターにつくと発火する恐れがあります。)
- 魚の脂や他の食品かすがついたまま調理をすると、前の食品のにおいがつくことがあります。焼網と受皿の汚れをきれいにしてから調理してください。(41ページ(お手入れ))
- 連続してご使用になる場合は、毎回焼網と受皿の汚れをきれいにし、5分程度間隔をあけ、ロースター庫内の温度を下げてから調理してください。ロースター庫内の温度が高いまま調理すると、センサーが正しく働かず早めに調理が終了したり、調理時間が長くなったりします。(高温のためやけどに注意する。)
- 自動調理の途中でロースタードアを開けないでください。上手に調理できません。
- 長時間ロースターを使用すると、ロースタードアのとっての下側が熱くなるのでご注意ください。
- 調理中、ロースタードアがくもったり、周りに露がついたりすることがあります。周りについた露はふきんでふきとってください。

魚焼き調理をする

準備

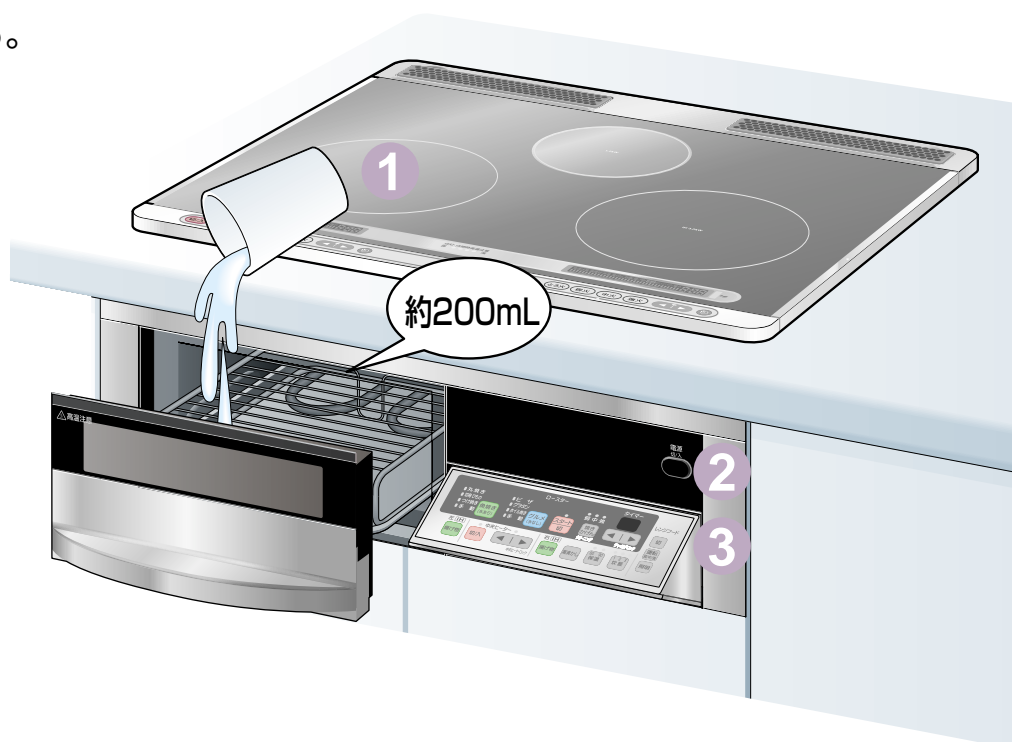
◎必ず受皿に水を約200mL入れてください。
◎ロースターと中央ヒーターとの同時使用はできません。

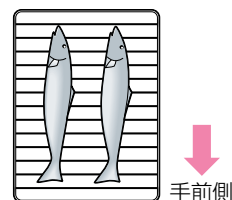
❶ 受皿・焼網をセットし、本体に組込む。

- ロースターに受皿・焼網をセットし、水を約200mL入れて材料をのせます。
- ロースタードアはロックするまで押し込んで確実に閉めてください。

❷ 電源を入れる。

- 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
- 電源ランプが点灯します。

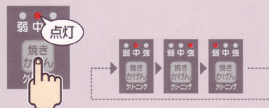
❸ パネル操作部を開ける。

魚焼き調理のこつ

●魚を調理する場合は、尾などの薄い部分が焦げやすいので、焼網の手前側に尾を向けてください。
●焼網にサラダ油などを塗っておくと調理物が焼網に付着しにくく、取り出しやすくなります。
●こげめのつき具合は魚の種類や大きさ、脂ののり具合、魚の温度、塩のふり加減によって違います。（塩のふる量が多いと焦げ目が強くなります。）お好みにより焼きかげんキーで調節してください。
●生魚（さんまやあじなど）は、焼き色がつきにくいので、調理する約10〜20分前に塩をふっておきます。
●冷凍してある魚は、よく解凍してから焼いてください。魚の内部が冷たいため、中まで火が通りにくく焼き不足になったり、温度センサーが正しく働かず焼き過ぎたりします。
●焼網よりも大きな魚を調理する場合は、半分に切ってください。
●魚を少量焼く場合は焦げやすいので、下ヒーターの真上をさけて置いてください。
●複数の食品を焼くときは種類、大きさ、厚さをそろえてください。
小さいものや火の通りやすいものは、焼き過ぎになります。

○調理タイマーは使用できません。　※「丸焼き」メニューをセットする場合。

魚焼き自動調理のしかた

1 材料に合わせて魚焼きメニューを選ぶ

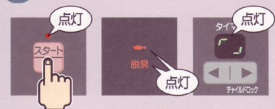
○魚焼きキーを押すごとにメニューが切り換わります。

2 材料や好みに応じて焼きかげんを選ぶ

○焼きかげんキーを押すごとに焼きかげんが切り換わります。

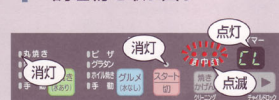
※魚焼きキーでメニューを変えると焼きかげん「中」状態となります。

※メニューおよび焼きかげん選択後、約3分以内にスタート/切キーを押さないとブザーが鳴り自動的に解除されます。

※調理中は、メニューおよび焼きかげんの変更はできません。

3 ロースターをスタートする

○スタート/切キーを押します。
○ロースターランプ・脱臭ランプが点灯して、調理がスタートします。
○タイマー表示部が「 」と表示され、途中から調理の残り時間を表示します。

- 途中で調理を終了したい場合は、スタート/切キーを押してください。調理終了後は、魚焼きメニューのランプが消灯し、自動的にヒーターのクリーニングを行います。
- 途中で調理を終了させた場合は、手動調理で加熱してください。（30ページ）

4 メロディーが鳴ったら調理物を取り出す

○調理物を入れたままにしておくと余熱で焦げ過ぎることがあります。
○焼きが足りないときは、手動調理で様子をみながら、さらに焼いてください。（30ページ）
○調理が終了すると焼きかげんランプが点滅し、高温注意を表示します。（最大7分間）
○調理が終了すると自動的にヒーターのクリーニング（CL表示）を行います。（ヒーターを加熱して付着した油分を焼ききります。最大5分間）

- ヒーターのクリーニングを途中で終了したい場合は、スタート/切キーを押してください。

○パネル操作部を収納します。

ヒーターのクリーニングが終わったら電源スイッチを押して電源を切る。

魚焼き手動調理のしかた

火力の目安

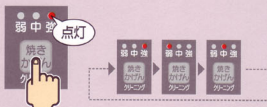
「中」900W相当

「弱」600W相当

「強」1.2kW

1 手動にする

○魚焼きキーを4回押し手動に合わせる。

※手動選択後、約3分以内にスタート/切キーを押さないとブザーが鳴り自動的に解除されます。

2 材料や好みに応じて 焼きかげんを選ぶ

○焼きかげんキーを押します。

※手動および焼きかげん選択後、約3分以内にスタート/切キーを押さないと、ブザーが鳴り、自動的にセットが解除されます。

3 ロースターをスタートする

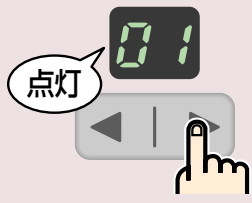
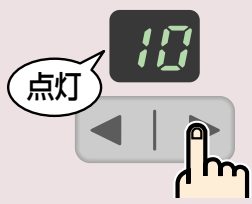
○スタート/切キーを押します。
○ロースターランプが点灯して、調理がスタートします。調理中に焼きかげんキーで火力を調節できます。

※調理タイマーをご使用になるときは、調理スタート後設定します。（31ページ）

4 調理が終わったら、ロースターを「切」にし、調理物を取り出す

○スタート/切キーを押します。
○調理が終了すると焼きかげんランプが点滅し、高温注意を表示します。（最大7分間）
○調理が終了すると自動的にヒーターのクリーニング（CL表示）を行います。（最大5分間）
- 調理物を入れたままにしておくと余熱で焦げ過ぎることがあります。
- ヒーターのクリーニングを途中で終了したい場合は、スタート/切キーを押してください。

○パネル操作部を収納します。

※ロースターを「切」にし忘れた場合は切り忘れ防止機能が働き、通電開始から約30分後に自動的にヒーターのクリーニングを行い、通電を停止します。

ヒーターのクリーニングが終わったら電源スイッチを押して電源を切る。

魚焼き自動調理の加熱時間の目安

魚焼きメニュー 魚焼き(水あり)	調理例		加熱時間の目安				
			メニュー	焼きかげん	数	目安時間	1尾(切)あたりの大きさ
丸焼き	海魚	さんま1～4尾 あじ1～4尾 いわし 真鯛 生にしん	さんまの塩焼き	中	1尾	約16～17分	長さ約28cm 約180g
				中	4尾	約18～19分	
			あじの塩焼き	中	1尾	約16～17分	長さ約23cm 約180g
	川魚	あゆ にじます		中	4尾	約18～19分	
			鯛の塩焼き	中	1尾	約18～19分	約230g
切身・ひもの	切身	鮭の切身・さばの切身	鮭の塩焼き	中	4切	約14～15分	約80g
	ひもの	あじの開き さんまの開き ほっけの開き かれいの一夜干し	あじの開き	中	2枚	約14～15分	約100g
つけ焼き	しょうゆ漬け	ぶり	ぶりのつけ焼き	中	4切	約12～13分	約100g
	みそ漬け	さわら 鯛	さわらの西京漬け	強	2切	約13～15分	約100g
	焼き鳥	塩焼き たれ焼き	焼き鳥(塩焼き)	強	8本	約12～15分	1本約50g
			焼き鳥(タレ焼き)	中	8本	約10～13分	

調理タイマーの使いかた (例：ロースターを使用中に10分の調理タイマーをセットする場合)

◎1分～最大29分まで1分単位で設定できます。
※調理中に設定します。

1 ロースターを通電中にタイマーキー ▶ または ◀ を押すとタイマー表示が数字で点灯します。

2 タイマーキー ▶ 、◀ を押して好みの時間に設定します。

3 時間を合わせた後、約3秒間経過後に「ピピッ」とブザーが鳴り、「・」が点滅し調理タイマーがスタートします。

4 調理タイマーが終了するとメロディーが鳴り、タイマー表示部に CL が点灯し、自動的にヒーターのクリーニングを行います。

• 途中で調理タイマーを中止するときは、もう一度 ◀ キーまたは ▶ キーを押してください。
• 設定した時間を変更したい場合は、調理タイマーを解除し、再度設定してください。
※切り忘れ防止機能(30分)を優先しますので、通電途中でのセットでは、最大時間が短くなります。

ロースター **グルメ調理をする**

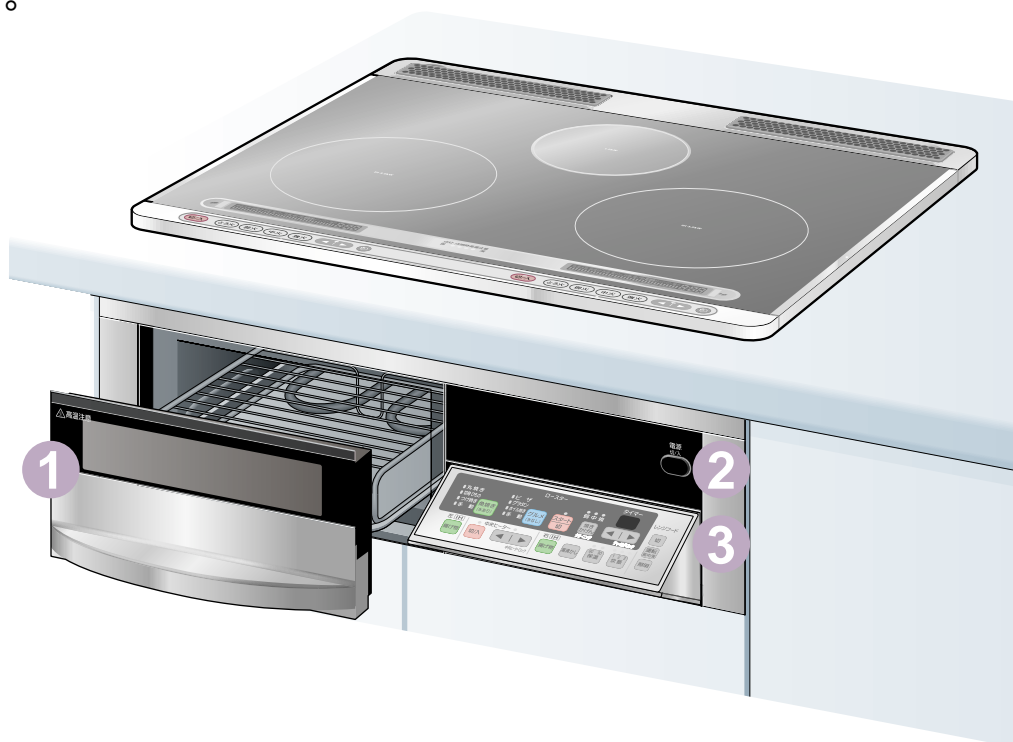
◎グルメ調理をするときは、受皿に水を入れないでください。
◎ロースターと中央ヒーターとの同時使用はできません。

① 受皿・焼網をセットし、本体に組込む。

- ロースターに受皿・焼網をセットし、材料をのせます。
- ロースタードアはロックするまで押し込んで確実に閉めてください。

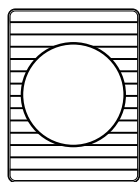
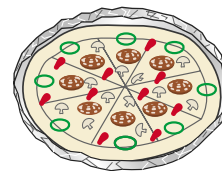
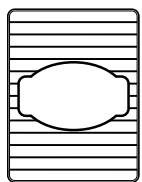
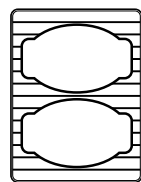
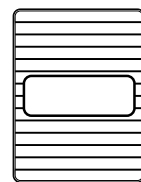
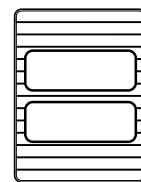
② 電源を入れる

- 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
- 電源ランプが点灯します。

③ パネル操作部を開ける。

グルメ調理のこつ

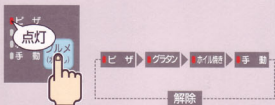
●冷凍食品を調理するときは、解凍せずに冷凍のまま調理してください。
●冷凍ピザや冷蔵ピザを調理するときは、包装をはずしてからアルミホイルをピザのまわりにそって折り曲げてください。
●冷凍グラタンを調理するときは、包装をはずしてからアルミケース皿のまま入れてください。
（プラスチック容器の冷凍グラタンは、焼くことができません。）
●調理するときの置き方は、下図のようにしてください。

ピザの場合

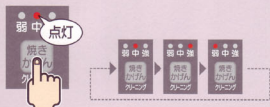
手前側

グラタン1個の場合

グラタン2個の場合

ホイル焼き1個の場合

ホイル焼き2個の場合

○調理タイマーは使用できません。　※「ピザ」メニューをセットする場合。

グルメ自動調理のしかた

1 材料に合わせて グルメメニューを選ぶ

○グルメキーを押すごとにメニューが切り換わります。

※メニュー選択後、約3分以内にスタート/切キーを押さないとブザーが鳴り自動的に解除されます。

2 材料や好みに応じて 焼きかげんを選ぶ

○焼きかげんキーを押します。
グルメキーでメニューを変えると焼きかげん「中」状態となります。

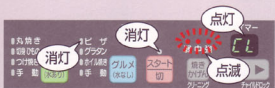
※グルメメニューおよび焼きかげん選択後、約3分以内にスタート/切キーを押さないと、ブザーが鳴り、自動的にセットが解除されます。

※調理中は、メニューおよび焼きかげんの変更はできません。

3 ロースターをスタートする

○スタート/切キーを押します。
○ロースターランプが点灯して、調理がスタートします。
○タイマー表示部に「 」と表示され、途中から調理の残り時間を表示します。

- 途中で調理を終了したい場合は、スタート/切キーを押してください。調理終了後は、グルメメニューのランプが消灯し、自動的にヒーターのクリーニングを行います。
- 途中で調理を終了させた場合は、様子をみながら最初から調理してください。

4 メロディーが鳴ったら 調理物を取り出す

○調理物を入れたままにしておくと余熱で焦げ過ぎることがあります。
○焼きが足りないときは、グルメ手動調理で様子をみながら、さらに焼いてください。（34ページ）
○調理が終了すると焼きかげんランプが点滅し、高温注意を表示します。（最大7分間）
○調理が終了すると自動的にヒーターのクリーニング（CL表示）を行います。（最大5分間）

- ヒーターのクリーニングを途中で終了したい場合は、スタート/切キーを押してください。

○パネル操作部を収納します。

ヒーターのクリーニングが終わったら電源スイッチを押して電源を切る。

火力の目安

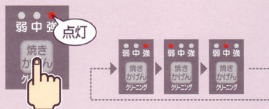
「中」600W相当

「弱」480W相当　「強」960W相当

グルメ手動調理のしかた

1 手動にする

○グルメキーを4回押し手動に合わせる。

※手動選択後、約3分以内にスタート/切キーを押さないとブザーが鳴り自動的に解除されます。

2 材料や好みに応じて 焼きかげんを選ぶ

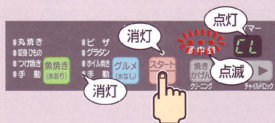
○焼きかげんキーを押します。

※手動および焼きかげん選択後、約3分以内にスタート/切キーを押さないと、ブザーが鳴り、自動的にセットが解除されます。

3 ロースターをスタートする

○スタート/切キーを押します。
○ロースターランプが点灯して、調理がスタートします。調理中に焼きかげんキーで火力を調節できます。

※調理タイマーをご使用になるときは、調理スタート後設定します。（35ページ）

4 調理が終わったら、ロースターを「切」にし、調理物を取り出す

○スタート/切キーを押します。
○調理が終了すると焼きかげんランプが点滅し、高温注意を表示します。（最大7分間）
○調理が終了すると自動的にヒーターのクリーニング（CL 表示）を行います。（最大5分間）
• 調理物を入れたままにしておくと余熱で焦げ過ぎることがあります。
• ヒーターのクリーニングを途中で終了したい場合は、スタート/切キーを押してください。
○パネル操作部を収納します。

※ロースターを「切」にし忘れた場合は切り忘れ防止機能が働き、通電開始から約30分後に自動的にヒーターのクリーニングを行い、通電を停止します。

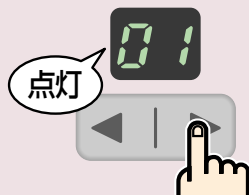
ヒーターのクリーニングが終わったら電源スイッチを押して電源を切る。

グルメ調理の加熱時間の目安

グルメメニュー グルメ（水なし）	加熱時間の目安				
	メニュー	焼き かげん	数	目安時間	分量
ピザ	冷凍ピザ	中	1枚	約12分～16分	1枚 直径約18cm （約220g）
	冷蔵ピザ	弱	1枚	約10分～13分	
	手作りピザ	中	1枚	約12分～16分	
グラタン	冷凍グラタン	中	2皿	約22分～27分	1皿約240g
ホイル焼き	ホイル焼き	中	2個	約18分～22分	1個約150g

調理タイマーの使いかた（例：ロースターを使用中に10分の調理タイマーをセットする場合）

◎1分～最大29分まで1分単位で設定できます。
※調理中に設定します。

1 ロースターを通電中にタイマーキー ▶ または ◀ を押すとタイマー表示が数字で点灯します。

2 タイマーキー ◀ 、▶ を押して好みの時間に設定します。

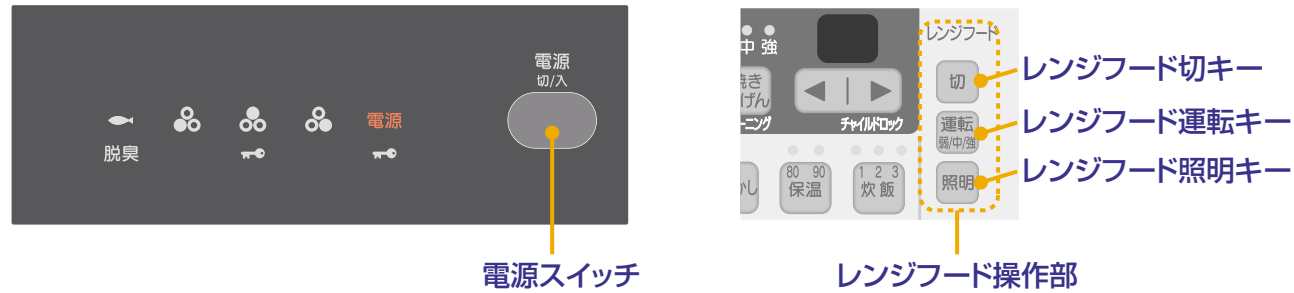
3 時間を合わせた後、約3秒間経過後に「ピピッ」とブザーが鳴り、「・」が点滅し調理タイマーがスタートします。

4 調理タイマーが終了するとメロディーが鳴り、タイマー表示部に CL が点灯し、自動的にヒーターのクリーニングを行います。

- 途中で調理タイマーを中止するときは、もう一度 ◀ キーまたは ▶ キーを押してください。
- 設定した時間を変更したい場合は、調理タイマーを解除し、再度設定してください。

※切り忘れ防止機能（30分）を優先しますので、通電途中でのセットでは、最大時間が短くなります。

レンジフード連動システムについて

●レンジフード連動システムは、クッキングヒーターの各ヒーターまたはロースターを通電／停止するとレンジフードが連動して運転／停止する機能です。
レンジフード連動システムを使用する場合は、必ずレンジフード連動システム対応のレンジフードとセットでお使いください。
●レンジフードのみを運転／停止する場合は、クッキングヒーターの電源が「入」の状態で行ってください。

操作のしかた

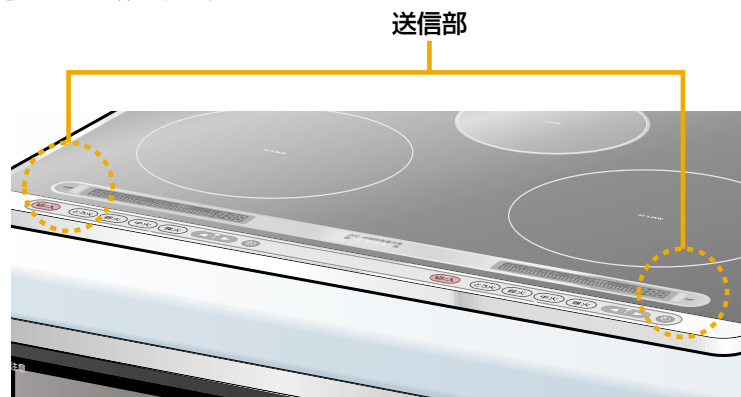
●クッキングヒーターの各ヒーターまたはロースターの通電／停止をすると、レンジフードが次のように運転／停止します。

クッキングヒーターの操作	レンジフードの動作
各ヒーターまたはロースターの通電を開始したとき	レンジフードが自動的に風量「中」で運転します。 ※すでに他のヒーターまたはロースターを使用している場合は、運転状態を継続します。
すべてのヒーターとロースターの通電を停止したとき	レンジフードが約3分後に停止します。

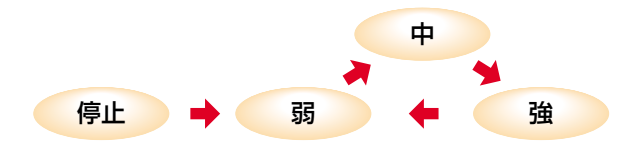
お　願　い

レンジフード連動システムは、トッププレートの手前両側の送信部から赤外線信号を送信し、レンジフードが受信して動作します。送信部が汚れたり、信号がさえぎられると、レンジフードが動作しない場合があります。

●ふきこぼれなどで汚れた場合は汚れをふきとってください。
●送信部に鍋などを置かないでください。
●送信部の上方に顔を近づけたり、フライパンなどのとってを向けないでください。
●テレビ・エアコンなどのリモコンを操作をしながら、クッキングヒーターの操作をしないでください。

※以上のことを行っても、レンジフード連動システムが働かない場合は、レンジフードの操作キーで操作してください。

レンジフードの運転を切り換えるとき

レンジフード運転キーを押す

●レンジフードが運転しているときは、レンジフード運転キーを押すごとに風量「中」→「強」→「弱」→「中」…と切り換えます。
●レンジフードが停止しているときは、風量「弱」で運転を開始します。

レンジフード運転キーを押すごとに風量が切り換わります。

レンジフードの運転を停止するとき

レンジフード切キーを押す

●レンジフードが停止します。

レンジフードの照明を点灯/消灯するとき

レンジフード照明キーを押す

●押すごとにレンジフードの照明が「点灯」←→「消灯」と切り換わります。

レンジフード照明キーを押すごとに点灯/消灯が切り換わります。

■レンジフードによっては、動作が異なる場合があります。また、レンジフードの使いかたはレンジフードの取扱説明書をご覧ください。
■レンジフード連動システム対応のレンジフードについては、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

チャイルドロックの使いかた

◎チャイルドロックは、お子様などの誤操作を防止する機能です。チャイルドロックを設定すると全てのヒーターおよびロースターの通電ができなくなります。

チャイルドロックの設定

1 電源を入れる

• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
• 電源ランプが点灯します。

2 チャイルドロックを設定する

○タイマーキーの ▶ を約3秒間押します。
○「ピッ」とブザーが鳴ってチャイルドロックランプが点灯し、チャイルドロックを設定します。

※チャイルドロックの設定は、各ヒーターおよびロースターの設定中や通電中はできません。

チャイルドロックは、電源スイッチを切っても（またプラグを抜いても）記憶しています。

チャイルドロックの解除

1 電源を入れる

• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
• 電源ランプが点灯します。

2 チャイルドロックを解除する

○タイマーキーの ▶ を約3秒間押します。
○「ピッ」とブザーが鳴ってチャイルドロックランプが消灯し、チャイルドロックを解除します。

中央ヒーターロックの使いかた

◎中央ヒーターロックは、中央ヒーターをご使用にならない場合に誤って通電をしてしまうのを防止する機能です。中央ヒーターロックを設定すると中央ヒーターの通電ができなくなります。

中央ヒーターロックの設定

1 電源を入れる

• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
• 電源ランプが点灯します。

2 中央ヒーターロックを設定する

○中央ヒーターの ▶ キーを約3秒間押します。
○「ピッ」とブザーが鳴って中央ヒーター通電ランプとロックランプが点灯し、中央ヒーターロックを設定します。

※中央ヒーターロックの設定は、中央ヒーターの設定中や通電中はできません。

中央ヒーターロックは、電源スイッチを切っても（またプラグを抜いても）記憶しています。

中央ヒーターロックの解除

1 電源を入れる

• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。
• 電源ランプが点灯します。

2 中央ヒーターロックを解除する

○中央ヒーターの ▶ キーを約3秒間押します。
○「ピッ」とブザーが鳴って中央ヒーター通電ランプとロックランプが消灯し、中央ヒーターロックを解除します。